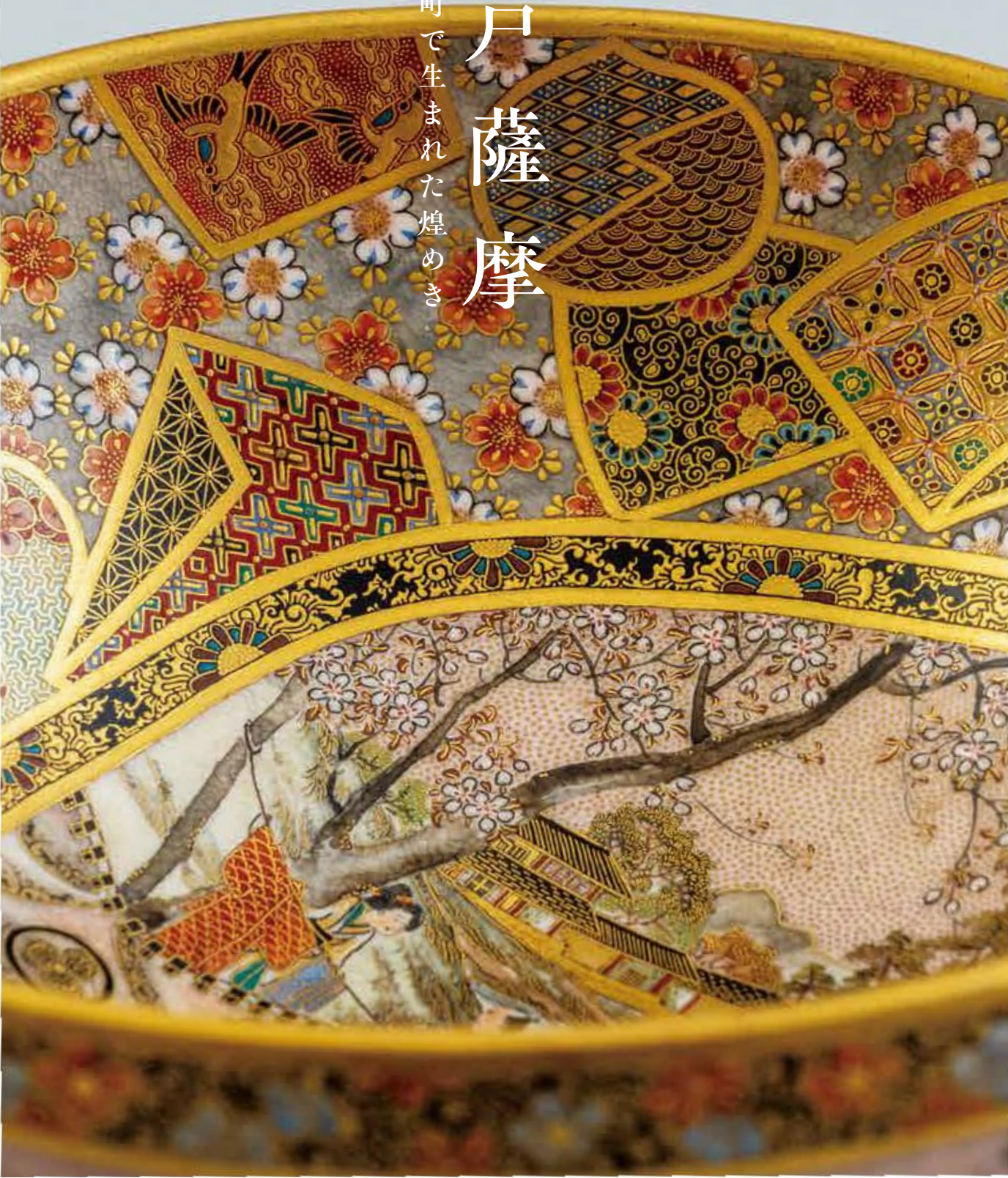


神戸薩摩

港町で生まれた煌めき





神戸薩摩 — 港町で生まれた煌めき

The Brilliance of Kobe Satsuma; Born in a port town

はじめに

今からおよそ25年前、私がまだ会社員として勤務していた頃のことです。ある展示会に出展していた際、自社ブースを彩るために上司が突然購入してきた一つの品に、私は思わず心を奪われました。それは、極めて華やかで緻密な花鳥図と、多彩で優雅な美人図が描かれた「里帰り薩摩(SATSUMA)」と呼ばれる花瓶でした。

SATSUMAの歴史は、幕末の激動期である1867年、パリ万国博覧会にまで遡ります。この博覧会において、薩摩焼は日本の美と伝統を世界に伝える先駆けとなり、なかでもその繊細で装飾性豊かな作品群は高い評価を受けました。この成功を契機に、SATSUMAは日本各地で広く製作されるようになり、数多くの優品が海外に渡っていきました。そしてSATSUMAは、日本文化を象徴する芸術品として確固たる地位を築くに至ったのです。

近年では、国内においても展覧会の開催や蒐集家によるコレクションの公開を通じて、超絶技巧ブームの高まりとともに、京薩摩の錦光山や、大阪薩摩の藪明山といった名も広く知られるようになりました。しかしながら、神戸薩摩に関しては、精巧山や司山といった名工の存在も十分には知られておらず、その実態も未だ明らかとはいえません。

あの出会いをきっかけに、私は古物商として独立し、日本の伝統美を凝縮した金襴手の意匠や、SATSUMAが持つ独特の世界観にさらに深く魅了されていきました。そして日本国内にとどまらず、欧州や米国にも足を運びながら、その蒐集に情熱を注いでまいりました。

そうした折、兵庫陶芸美術館より、開館20周年を記念する展覧会「博覧会の時代HYOGO発、明治の輸出陶磁」のお話をいただきました。それから3年以上の歳月をかけて蒐集してきた神戸薩摩の逸品は、いずれも明治という時代の職人たちの卓越した技と美意識の結晶です。

本書は、そうした神戸薩摩の中から特に魅力的な作品を紹介し、その美しさと技術の高さを広く世に伝えるべく刊行の運びとなりました。神戸という地で生まれ、今日まで語られることの少なかった「神戸薩摩」の魅力を、どうぞご堪能ください。

最後になりましたが、本書の刊行にあたり、多大なるご助力とご助言を賜りました関係者各位に、深く御礼申し上げます。

古美術 和乃蔵 浦 秀樹



目次

はじめに	2
図版	
精巧山	5
巧山	25
司山	27
介山	44
阪錦山	55
平松元山	60
良山	63
長谷川	64
論考1 	65
文献調査を基にした明治期の神戸絵付に関する一考察 — 薩摩焼風の陶磁器を中心に —	
論考2 	80
神戸の陶磁関係者分布図について	
作品解説	88
作品目録	93



1
精巧山
Seikōzan
花見図茶碗
Tea bowl with flower-
viewing scene







29

司山

Shizan

人物風景図香炉

Incense burner with
figures and landscape



謝辞

本書の刊行にあたり、ご協力を賜りました、下記の方々に深く感謝の意を表します。
(敬称略五十音順)

皇居三の丸尚蔵館
兵庫陶芸美術館
横山美術館

神地古美術 高橋城史
川那部美術 川那部良
太鳳堂 久野泰志
初音美術 山内成作

倉長裕幸
武内正仁
中島文徳
中野朋子
堀佐知子

David Brower Antiques (UK)
Japanese Gallery Kensington (UK)
Kevin Page Oriental Art (UK)
Malcolm Fairley Japanese Art (UK)
Susan Tosk & David Cole Orientations Gallery, New York (US)

写真提供

兵庫陶芸美術館 No.26・36・38

写真撮影

高瀬智司(フォトルブ) No. 1~25・27~33・35・37・39~43・45・47~56

神戸薩摩 — 港町に生まれた煌めき

2025年6月7日発行

[編集]

古美術 和乃蔵

[デザイン]

山本達也(アート印刷株式会社)

[印刷]

アート印刷株式会社

[発行]

古美術 和乃蔵 浦 秀樹

〒652-0034 兵庫県神戸市兵庫区西橋通1丁目1-5 1F